

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和02年12月23日

計画の名称	松戸市下水道整備計画												
計画の期間	令和03年度～令和07年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	松戸市												
計画の目標	下水道未普及地区の整備により、安全で快適な都市環境を創出する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,254	A	7,254	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	下水道処理人口普及率を87%(R3当初(見込))から94%(R7末)に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	87%	90%	94%
	下水道を利用できる人口(人)/行政人口(人)×100			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠（ 污水）	新設	江戸川左岸処理区 主要 な管きよの新設	φ200～350mm	松戸市	■	■	■	■	■	7,080		—	
		通常の下水道事業																		
	A07-002	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠（ 污水）	新設	手賀沼処理区 主要な管 きよの新設	φ200mm	松戸市			■	■		150		—	
		通常の下水道事業																		
	A07-003	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	—	—	広域化・共同化	調査・設計・計画策定	松戸市			■	■	■	24		—	
		広域化・共同化事業																		
												小計						7,254		
												合計						7,254		

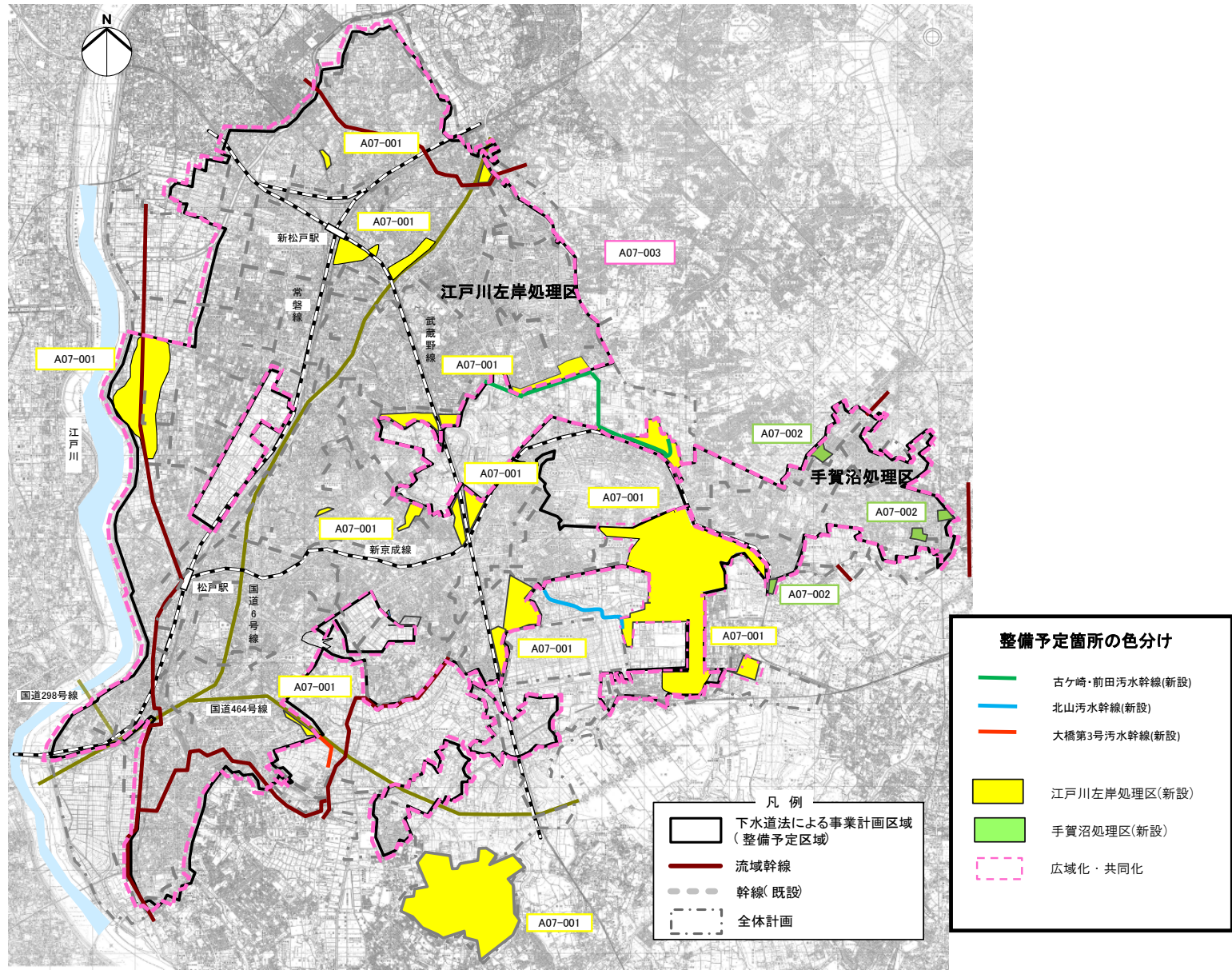
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R03	R04	R05	R06	R07
配分額 (a)	575	490			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	575	490			
前年度からの繰越額 (d)	0	243			
支払済額 (e)	332	549			
翌年度繰越額 (f)	243	184			
うち未契約繰越額 (g)	24	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	4%	0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-			

※ 令和3年度以降の各年度の決算額を記載。

計画の名称	松戸市下水道整備計画	交付対象	松戸市
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）		



事前評価チェックシート

計画の名称： 松戸市下水道整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性	
東京湾流域別下水道整備総合計画、利根川流域別下水道整備総合計画、松戸市公共下水道全体計画、松戸市総合計画と整合を図っている。	
I. 目標の妥当性	
2) 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	○
I. 目標の妥当性	
関連する各河川及び湖沼の浄化計画等と整合を図っている。	
II. 計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
定量的指標の向上により、整備計画の目標が達成される。	
II. 計画の効果・効率性	
2) 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
計画の成果目標（定量的指標）とする数値が市民にとって分かりやすいものになっている。	
II. 計画の効果・効率性	
3) 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
事業実施により適切に計画の目標値が達成出来る。	
II. 計画の効果・効率性	
4) 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
II. 計画の効果・効率性	
各効果促進事業により交付対象事業の事業効果が向上する。	
III. 計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性	
事業執行にあたり地域住民等への説明会を行い、事業実施の確実性を確認している。	
III. 計画の実現可能性	
2) 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

区画整理事業等の関連事業との連携により相乗効果・波及効果が得られるものになっている。住民や民間事業者の協力が得られるものになっている。